

お知らせ

【返信ハガキ】

第八回定期総会の出欠を確認させていただきたく、返信用のハガキを同封いたしました。出席、欠席のいずれかに○を付け、必要事項を記入の上、9月30日までに投函していただきますようお願い致します。個人情報保護のため目隠し用シールを同封しておりますのでご利用下さい。なお、切手は必要ありません。

▽本人情報欄

返信ハガキは、皆様の現況届けを兼ねております。現住所や勤務先などに変更がない場合でも、全て記入していただくようお願い致します。会員の増加に伴い同姓同名の方が増えていることから、卒業期や組、卒業年も忘れずに明記して下さい（卒業期と卒業年は封筒の宛名の右下に記載されています）。

▽実家情報欄

転居の際に連絡がいただけず不明者となるケースが増えております。本人に連絡が取れない場合でも、ご実家に連絡が可能であれば不明者とならずに済むことから、返信用ハガキにも実家情報欄を設けております。主旨をご理解の上、記入をお願い致します。特に現在学生の皆様（卒業後の転居が予想

される）や、近々転居の予定がある方は必ず記入して下さい。

・本人の住所と同じ場合

・実家欄に「同上」と記入して下さい。

・本人住所と異なる場合

より確実に郵送させていただくためにも、実家住所欄の最後に○○方と記入をお願い致します。高校卒業時とご実家の住所や電話番号、○○方に該当する保護者名に変更がない場合は、「卒業時と同じ」と記入していただいても構いません。

▽不明者情報欄

同封されている不明者リストは、転居先不明により会報などが発送出来ない方々です。リストの中でご存知の方がおられましたら、返信用ハガキの不明者欄に記入をお願い致します。不明者欄だけで書ききれない場合は、宛先の通信欄をご利用下さい。

▽ご実家の皆様へ

同窓会からの郵便物をご実家に届いたにも関わらず本人が同居していない場合は、本人の連絡先が不明となっております。お手数ですが本人にご確認の上、郵便物を転送していただくか、返信ハガキに本人の連絡先を記入して返信していただけますようお願い致します。ただし本人の意向により同窓会からの連絡先をご実家とされる場合は、その旨を宛先面の通信欄に記入の

上、ご実家の住所を本人住所としていただいても差し支えありません（その場合は、実家情報欄は「同上」として下さい）。なお、ご実家を連絡先とする旨を既にいただいている場合は、封筒の宛名の個人用コードの横に（実）と表記されております。

【メールによる変更届け】

今後、転居された場合など、メールによる変更届けも受け付けております。アドレスは1ページ目を参照して下さい。（今回の総会の出欠確認は、同封されている返信ハガキでお願い致します）

【個人情報取り扱いについて】

皆様から寄せられた個人情報は、同窓会事務局からの連絡や郵便物の発送以外の目的では利用致しません。情報流出にも細心の注意を払って管理にあつております。

同窓会事務局の名前で個人情報を聞きたそうとする不審な電話を受けたという情報が時々寄せられております。事務局から直接電話で尋ねることは一切しておりません。また、現時点で名簿を発行する予定もありませんので、そのような電話にはくれぐれもご注意ください。万が一、事務局で電話調査などが必要な場合は、事前に会報でお知らせ致します。何か不審な点がありましたら事務局へご確認下さい。

札幌日本大学高等学校同窓会

桜 昂 会



〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1 TEL 011-375-2611
E-mail oukoukai.snuh@sapporonichidai.ed.jp

初のプロ野球選手誕生!!

— 背番号は「36」に決定 —

昨年9月25日に行われた高校生ドラフトで、「千葉ロッテマリーンズ」から3順目に指名されたのは、今年の春卒業した18期生の黒滝将人君。同11月5日には仮契約が結ばれ、同12月14日に入団発表が行われました。

いつか札幌ドームで投げることを夢見て
目指すは「プロ200勝!!」



▲チームメートから祝福を受ける黒滝君

仮契約を終えた直後のインタビューを一部抜粋しました。

— 今の心境を教えてください。 —
今は、まだ実感がわきませんが、ユニフォームを着たらプロ野球選手として実感がわくと思います。

— 今は、不安な気持ちでいっぱいですが、プロの練習についていけるだろうか、人間関係はうまくやっていると、率直な今の気持ちです。 —
高校の野球生活を振り返って、思い出に残っていることは何ですか。入部当時は「やめたい」と思いましたが、夢がプロ野球選手になることと、甲子園に出場することだったので、必死になって練習しました。

— 思い出に残っていることは、僕がエースナンバーを任せられた高校2年生の夏に負けた篠路高校戦、3年生の春の全道大会で札幌第一高校に勝って、円山球場で初めて校歌を歌ったこと、そして3年生最後の夏、全校応援ながらも札幌光星高校に負けたことなど、まだまだ思い出はたくさんあります。 —
— 今後の抱負とメッセージをお願いします。 —
まずは必死に練習して一軍に上がることに。上がった自分は千葉ロッテですが、札幌ドームで投げるのが目標

現在の同窓会正会員数

1期生	459人	10期生	354人
2期生	342人	11期生	261人
3期生	342人	12期生	397人
4期生	363人	13期生	320人
5期生	352人	14期生	335人
6期生	399人	15期生	345人
7期生	367人	16期生	282人
8期生	450人	17期生	322人
9期生	311人	18期生	334人
		計	6,335人

編集後記

一年が経つのは早いなあと、会報を作成する時期になるといつも思います。そして、同窓会は少しでも成長できたのかなと振り返ってみるのですが、なかなか胸を張って「ハイ」とは言えません。それでも新メンバーが加わったこの一年間は、色々話し合ってきました。大きな進歩は難しいかもしれませんが、一つ一つの積み重ねを大事にしていきたいと思えます。

編集委員

- 中村 美千代（1期生）
- 辻山 弥生（3期生）
- 寺岡 麗香（4期生）



▲ドラフト当日に行われた校内での記者会見

20周年を記念して...

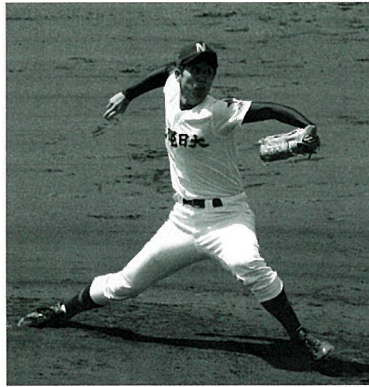
制服、校舎、教室、何もかもが新しい環境の中で、1期生だけの高校生生活がスタートした1987年4月。あれから20年。数多くの生徒たちがこの校舎で学び、そしてそれぞれの道へと旅立っていきました。

その一人一人の思い出が詰まっている校舎の外装工事とグラウンドの整備が、20周年事業として行われます。また、IT関連の整備を行い、職員室には新たなパソコンを導入するそうです。

同窓生の皆さんが参加できる催しとしては、9月27日に開かれる記念演奏会があります。平日の開催ではありませんが、お誘い合わせの上、楽しいひとときをお過ごし下さい。（詳細は4ページ）

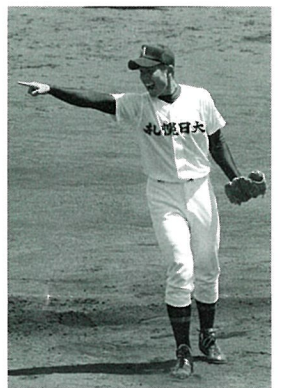
小学校の卒業式で「将来はプロになる」と宣言してから6年、自らの手で大きな夢を掴んだ黒滝君。現在は2軍で汗を流す毎日ですが、7月4日には楽天戦で初勝利を収め、更なる夢へと着実に歩み始めています。

そんな黒滝君がまだ3年生だった頃、同窓会独自のアンケートに答えてくれました。



Q 野球を始めたのはいつですか？
 A 小学校3年生から。自分から野球をやりたいと思い始めました。
 Q 当時のポジションはどこですか？
 A レフトです。小4からピッチャーに転向しました。
 Q ピッチャー以外だったらどの守備が良かったですか？
 A ファーストです。
 Q 野球での武器は何ですか？
 A 直球・ストレート！ 146km/h。
 Q 野球をする上で気を付けていることは何ですか？

A 挨拶、気配り、感謝の気持ち。
 Q マウンドに立っている時はどんなことを考えていますか？
 A 先頭バッターを抑えることだけ考えています。
 Q ピンチの時どんなことを思っていますか？
 A 冷静にと言いつつも、後ろも見ると思っています。
 Q 今までの記録を教えてください。
 A 小学生の時のソフトボール投げで、4年生で40m、5年生で70m。現在は、硬球で100m飛びます。
 Q 今はプロの道へ進むことになりましたが、小さい頃の夢は？
 A 幼稚園まではサッカー選手（笑）。清水エスパルスが好きでした。
 Q 好きな食べ物・嫌いな食べ物は何ですか？
 A 好きな食べ物は肉類と野菜。嫌いな食べ物は漬物（キムチを除く）。
 Q リラックス方法があれば教えてください。
 A 音楽鑑賞。19やゆずが好きです。



Q 札幌日大に入ったきっかけは？
 A 鳥崎先生に出会って。
 Q 3年間の高校生活はどうでしたか？
 A 早く、そして楽しかったです。
 Q 楽しかったことは何ですか？
 A 寮生活と、投げていること。
 Q 辛かったことは何ですか？
 A 走ること（特に1年生の時）朝練で6〜10kmランニングしていました。
 Q 札幌日大の野球部は一言でいうと？
 A 自分を育ててくれた場所。みんながいての野球部。思い出深いです。
 Q 初給料は何に使いますか？
 A 両親にプレゼントします。
 Q マウンドに立つ予定はいつごろになりますか？
 A 3年後に、1軍でマウンドに立ちます！（松坂投手と同じ）
 Q これからの抱負を。
 A プロで200勝します！
 ※掲載されている写真は全て、野球部副部長・中村和則先生の撮影です。

〜野球部監督よりひとこと〜

森本 卓朗 先生（10期生）

黒滝が卒業してから4ヶ月が過ぎましたが、プロ野球という新しい社会で高校時代と同様に日々努力していることと思います。在学中から練習に対して取り組む姿勢が素晴らしく、後輩からも慕われていたので、野球部に大きな影響を残してもらいました。今年の1年生には第2の黒滝になりたいという希望をもった選手も多く入ってきています。これからもプロ野球という厳しい世界で、辛く苦しい生活が続いていくと思いますが、1軍の舞台で活躍することを期待しています。



▲ チームメイトと一緒に笑顔でVサイン!!

シリーズ 札幌人

第八回

教員と同窓生各一人ずつを取り上げて、札幌日大高校に対する思いや現況などを寄せてもらいました。退職された先生方の名前も掲載しています。

同窓生



小原 慎也 (1期生)

プロフィール
 ● ジャパンジュエリービジネススクール卒業
 ● 株式会社オハラ勤務
 在学時は、2年生の後期から1年間生徒会長を務める。現在は、営業活動に励む毎日。

同窓生の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？ 札幌日大高校に入学したのが昭和62年なので、今からちょうど20年前になります。早いなあ。当時15歳だったのに、もう35歳！ みんな元気かなあ。

僕は現在、父が経営する宝石屋に勤めています。役職は宝飾部の営業部長をしています。最近ではダイヤモンドエリリーに力を入れています。幸せな結婚の始まりを、ブライダルジュエリーを通じてお手伝いできればいいなあと思っています。指輪の素材やデザインが多様化するなかで、自分らしさを主張できるような商品を要望されるお客様が増えてきました。そこで、昨年の春、札幌駅のバセオに『プロポーズ』というちょっとベタな店名のブライダルジュエリーの専門店をつくりました。プロポーズには「結婚を申し込む」という意味のほかに「提案する」という意味があります。結婚指輪は人生で最も長い時間身につけるアイテムです。僕は、デザインはもちろんのこと、作りの良さ、付け心地を大切にしながら指輪を提案し続けたいと思っています。機会があったら（なくても？）お店を覗いてみて下さい。

追伸/第1期生の同窓会を開催します。ぜひ参加してね。詳細は後日お伝えします。たぶん2008年1月頃です。

そういえば最近日大のバックを良く見かけませんか？ なんて？ 流行？ 誰かおしえてっ！

教員



中出 準人

プロフィール
 ● 3年8組副担任
 ● 数字担当
 開校2年目に着任。現在、進路指導部長を務める。

開校二年目に新卒で採用され、まだ若い、まだ若いと思っていた自分も四十歳を過ぎ、時の流れの速さを感じています。思えば勤務した頃の頃は様々なことがあり、大変なことも多々ありましたが、楽しいことも多く、生徒に育てられたともつくづく感じています。

これまでに四期生、七期生、九、十一、十三、十四、十八期生と七回の卒業生を送り出してきました。皆さん元気にしているでしょうか。私は、卒業してからが本当の付き合いだと言っています。卒業生にお世話になることもありますが、人とのつながりの大切さを噛みしめているところです。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

私が高校を卒業して二十年経ったときに初めてのクラス会があり参加しま

した。結婚して名字が変わった人、当時痩せていたのに太った人（自分もその一人でした）、少し髪が薄くなった人など様々でしたが、人柄はその当時のまま、皆そのまま大人になり成長した感じでした。高校時代はあまり話をしなかった人でも何故か和気藹々になるものです。二十年も経ったのにタイムマシーンにでも乗ったかのようにその当時に戻れた楽しい時間でした。

一期生はそれぞれ所高校を卒業して二十年が経ちます。その当時のことを思い出し、どこかで再会するのも改めて交友の輪を広げるチャンスになるかもしれせん。また、たまたま就職した会社の先輩に自分と同じ札幌日大高校卒業生がいるかもしれせん。そんな交友同士の出会いも大切にしてほしいと思います。

退職された先生方(平成18年度)

- 中川 純二 (教諭/保健体育)
- 富樫 征治 (教諭/英語)
- 工藤 裕佳理 (専任講師/理科)
- 木田 真由美 (専任講師/国語)
- 鷺田 佐知子 (非常勤講師)
- 井上 輝信 (非常勤講師)
- 北川 恒雄 (非常勤講師)
- 山川 利勝 (非常勤講師)
- 杉村 和貴 (非常勤講師)
- 中村 雄幸 (専任舎監)
- 竹花 太郎 (専任舎監)

"祝"開校20周年!!

～「Kitara」で記念コンサート～

客席がオープンステージを囲むアリーナ型の大ホール。
秋の午後ひととき、懐かしい友人たちと一緒に
美しい音色を楽しみませんか?
終演後は、思い出話に花を咲かせましょう。

札幌日本大学高等学校
校長 伊藤 弘毅



本校は、昭和六十二年に開校されて以来、六十二年を過ぎました。卒業生も六千三百三十三名に達し、同窓生の皆さんが社会の色々な分野で中堅或は先頭に立って活躍されていることに大きな喜びを感じております。

本学園、札幌日本大学学園のルーツは、昭和三十九年白老に設立された学校法人北海道日本大学高等学校（昭和六十二年四月一日北海道日本大学高等学校は北海道樺丘高等学校と校名を変更する。その後、平成十二年四月一日付にて同校経営を学校法人北海道佐藤栄学園に移管し、同学園は北海道栄高等学校と校名を変更して現在に至る。）に始まります。そして昭和六十二年に札幌日本大学高等学校を開校し、更に平成二年四月一日学校法人名を札幌日本大学学園に変更しました。また、平成十五年には中高一貫六カ年教育によって、より有為な人材を育成すべく札幌日本大学中学校を併設開校しました。この間、浅利徹理事長・校長の下、着実に成長、発展してきましたが、そこには地域社会の多くの方々の暖かいご支援、また教職員、生徒、保護者、同窓会の皆さんのたゆまぬご努力、ご協力を頂いたたまたまものであると深く感謝しているところであります。

つきましては、学校法人創立四十三周年、札幌日本大学高等学校二十周年、札幌日本大学中学校創立五周年記念演奏会を下記の通り、平成十九年九月二十七日、札幌コンサートホール「Kitara」で開催致します。当日は、これまでお世話になった皆

記念演奏会

学校法人創立43周年
札幌日本大学高等学校創立20周年
札幌日本大学中学校創立5周年

- 日時 平成19年9月27日(木) 開場: 12時30分
開演: 13時00分 (15時終了予定)
- 会場 札幌コンサートホール「Kitara」大ホール
(札幌市中央区中島公園1番15号)
- 演奏 札幌交響楽団 (正指揮者 高関 健)
- 演目 歌劇「フィガロの結婚」序曲・交響詩「フィンランディア」
交響曲第5番ハ短調「運命」OP67 他

【入場整理券の申し込み方法】

氏名、郵便番号、住所、卒業年度(期生)を記入の上、
9月14日(金)までに、FAXでお申し込み下さい。

※席に限りがあるため、定員になり次第締め切らせていただきます。
尚、同封されている返信ハガキは定期総会の出欠確認用です。
演奏会の申し込みには使用できません。

申込先 札幌日本大学高等学校事務局
電話 011-375-2611
FAX 011-375-3305

様にもご鑑賞いただきたいと思っておりますので、どうぞお越し下さい。尚、最後になりましたが、本年四月一日より、浅利校長が勇退し、理事長職に専念することとなりました。後任として私、伊藤が中学・高校の校長を拝命致しました。力不足ではありますが

が前校長の心をより深め本校の教育発展のために力を尽くしていく所存であります。一層のご協力をお願い致すと共に、同窓生の皆様の益々のご発展、ご活躍を祈念しまして挨拶と致します。

活動報告

第7回定期総会

平成18年10月1日午前10時30分から、札幌日大高校で、第7回定期総会が開かれました。残念ながら出席者は少数でしたが、各議案に対して質疑応答が行われました。ここにその報告をさせていただきます。

第1号議案

平成18年度事業報告

以下の項目について報告しました。
・卒業生への記念品贈呈
平成18年3月1日の同窓会入会式で第17期生322名へ印鑑付きボールペンを贈呈。
・卒業生への特別奨学金の贈呈
該当者無し
・同窓会会報の発行

『校昂会Vol.8』を、不明者リスト、総会出欠確認用返信ハガキとともに、平成18年9月4日に発送。20周年に向けての活動や同窓会活動の紹介、第20回学校祭の模様、シリーズ札幌人など全8ページ。

・第7回定期総会の議案書作成・審議
役員会を数回開き、各議案について審議を重ねて議案書を作成。
・名簿管理
名簿データの更新など

幹事会の仮発足

同窓会事務局強化のため幹事会を仮発足。本総会の第3号議案で承認を得て正式に発足。

第2号議案

平成18年度決算報告

別表の通り報告し、承認されました。

第3号議案

役員改選・幹事会発足

任期満了となる役員に代わり、新役員候補者に対して承認を得ました。

【役員】

- 会長 中里 仁 (1期生)
- 副会長 加藤 一 (1期生)
- 幹事長 寺岡 麗香 (4期生)
- 副幹事長 中村美千代 (1期生)
- 西田 康人 (1期生)
- 松川 一美 (7期生)
- 辻山 弥生 (3期生)
- 藤原友紀恵 (6期生)
- 小澤 忠謙 (6期生)
- 会計 辻山 弥生 (3期生)
- 藤原友紀恵 (6期生)
- 小澤 忠謙 (6期生)
- 会計監査 小澤 忠謙 (6期生)

【幹事会】

常任幹事 寺岡 克啓 (4期生)

- 辻 維之 (7期生)
- 佐藤 潤 (12期生)
- 北川しのぶ (4期生)
- 住友 静恵 (6期生)
- 新井田幸希 (8期生)
- 小林 義典 (12期生)

幹事 寺岡 克啓 (4期生)
辻 維之 (7期生)
佐藤 潤 (12期生)
北川しのぶ (4期生)
住友 静恵 (6期生)
新井田幸希 (8期生)
小林 義典 (12期生)
(任期は平成14年10月21日から平成16年総会開催日まで)

●●平成18年度一般会計決算報告●●

【収入】	
平成17年度からの繰越金	4,196,980
第17期生同窓会費(322名)	1,610,000
雑収入(預金利息)	10,392
合計	5,817,372
【支出】	
(運営費)	
事務通信費	605,897
会議費(交通費・茶菓子)	143,822
(活動費)	
卒業記念品	246,960
同窓会会報	275,520
敬弔費	0
特別奨学金	0
(事業積立)	
20周年積立	161,000
同窓会館設立基金	161,000
合計	1,594,199
【残高】	
収入-支出=	4,233,173(次年度繰越金)

第4号議案

平成19年度予算事業審議

以下の項目について提案、承認されました。

- ・卒業記念事業
- ・特別奨学金給付
- ・同窓会会報発行
- ・第8回定期総会の議案書作成・審議
- ・名簿管理

第5号議案

平成19年度予算案審議

承認されました。

第6号議案

20周年記念事業および予算案

以下の項目について提案、予算案とともに承認されました。
・同窓会専用ホームページ開設
・学校への記念品贈呈
※10周年と同様に、同窓会の名簿発行についても検討を重ねましたが、個人

20周年記念事業

は会員の現状把握が不可欠であるため、これまで同様、事務局の内部資料としての名簿管理は続けていきます。

学校への記念品贈呈は、役員会で話し合った結果、『時計塔』を贈ることに決定いたしました。学校へその旨を伝えたいところ、記念式典の開催予定がないことなどもあり、後日辞退の申し出がありました。誠に残念ではありますが、次回の周年事業の際に改めて検討したいと思います。

ホームページについては今年の開設を目指して検討を重ねてきましたが、諸事情により作業が一時中断しております。今後、早期開設を目指して作業を進めていきたいと思います。